

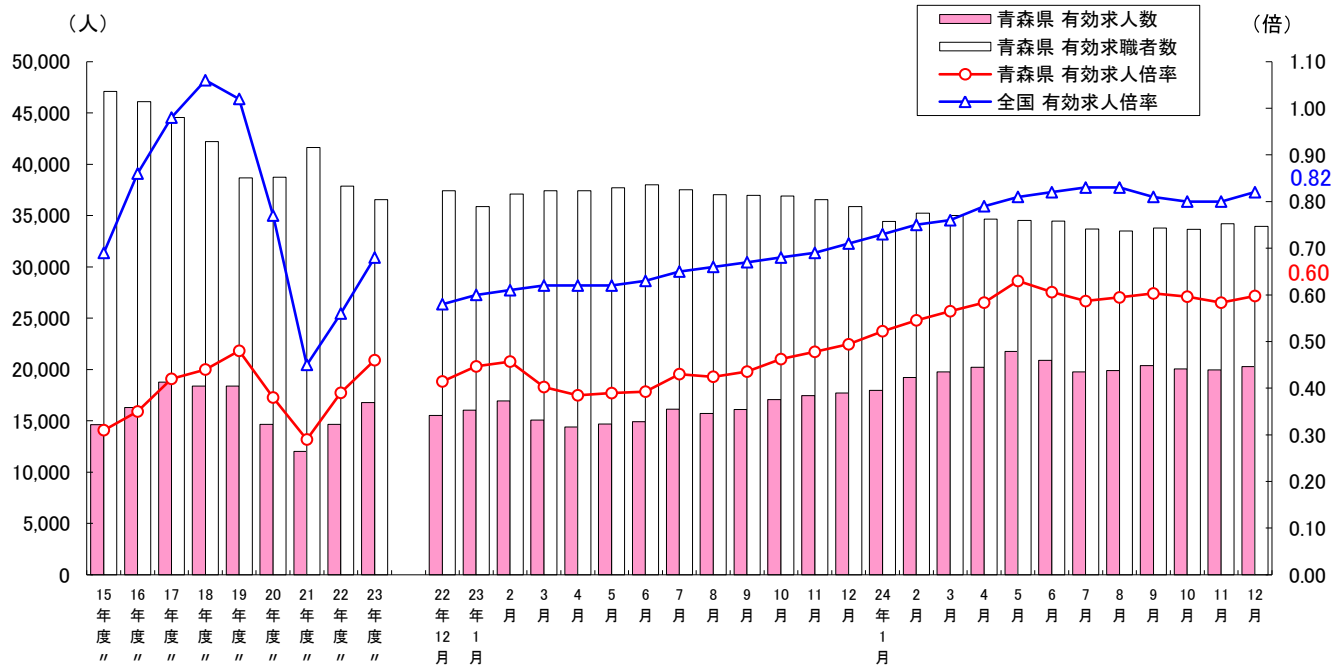
最近の雇用情勢について

(平成24年12月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

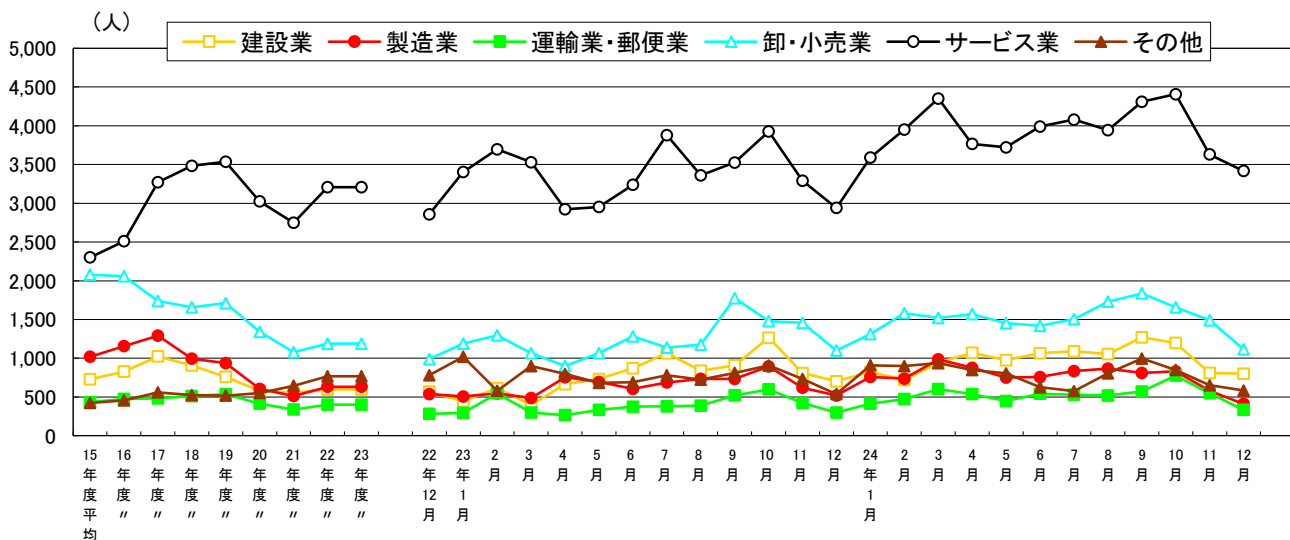
12月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.6%増加の20,276人、有効求職者数(同)は0.8%減少の33,932人で、有効求人倍率(同)は前月を0.02ポイント上回る0.60倍となった。



II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

12月の新規求人(原数値)は前年同月比9.3%(565人)増加、前月比13.6%(1,047人)減少の6,664人。

産業別に前年同月と比較すると、建設業、運輸業、郵便業、卸売業・小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育、学習支援業、医療、福祉、サービス業等で増加し、農、林、漁業、製造業、情報通信業、宿泊業、飲食サービス業、複合サービス事業等では減少となった。製造業では、木材・木製品等製造業、印刷・同関連業、金属製品製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、汎用・生産用・業務用機器製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業等では減少となった。

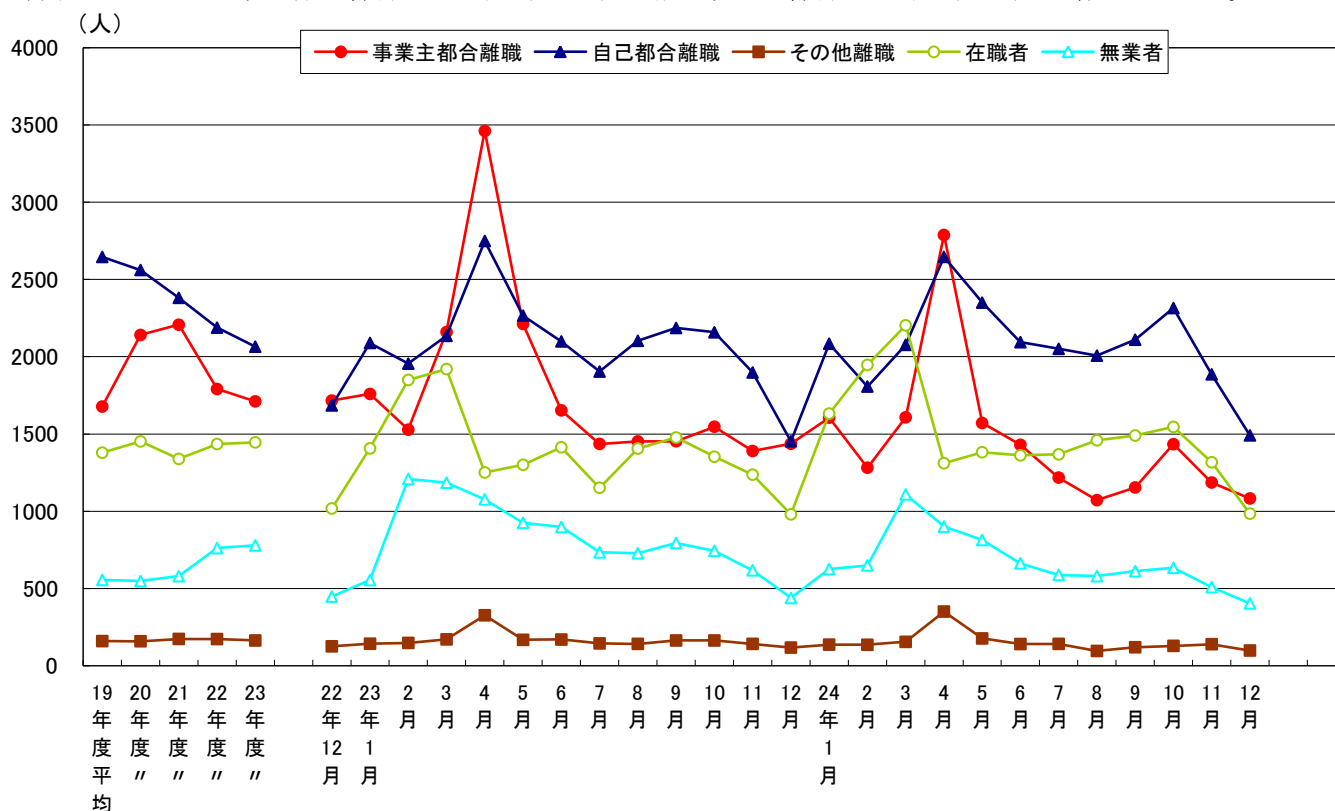


平成21年4月内容分より、平成19年11月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援事業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業」を含む。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「公務、その他」を含む。

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

12月の新規求職者数は、前年同月比8.2% (365人)減少、前月比19.4% (976人) 減少の4,062人。
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は0.5% (5人)増加し、離職者は11.1% (335人) の減少、無業者は 8.0% (35人) の減少となった。

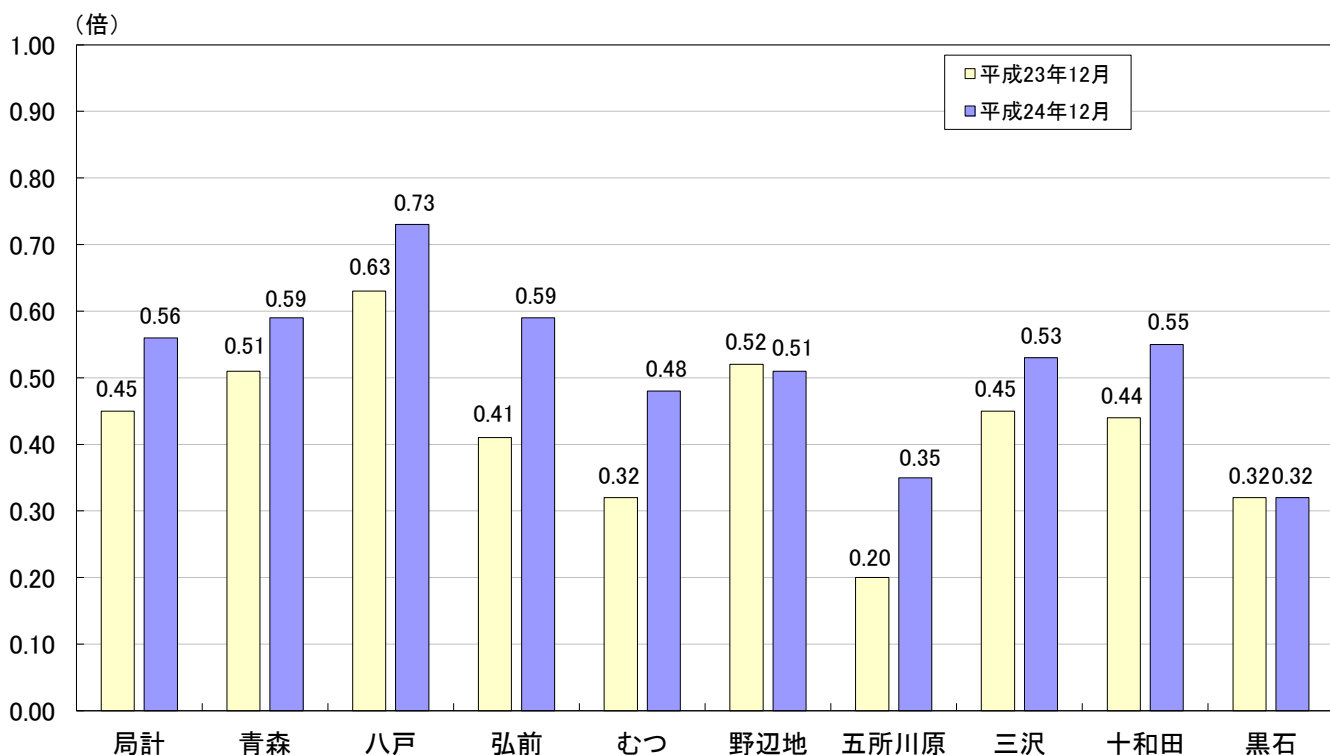
離職理由でみると、事業主都合は24.6% (354人) の減少、自己都合は2.6% (38人) の増加となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

12月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.56倍となり、前年同月を0.11ポイント上回った。

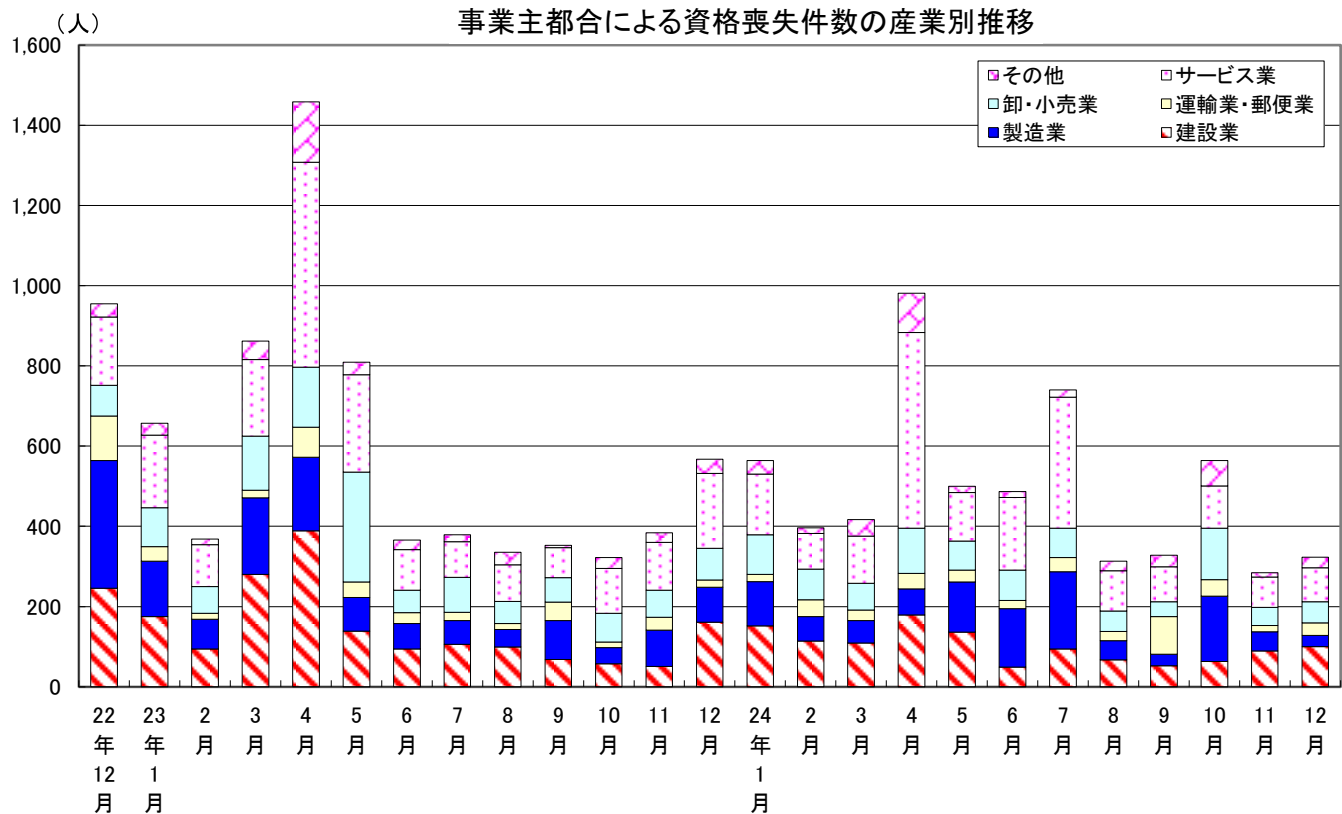
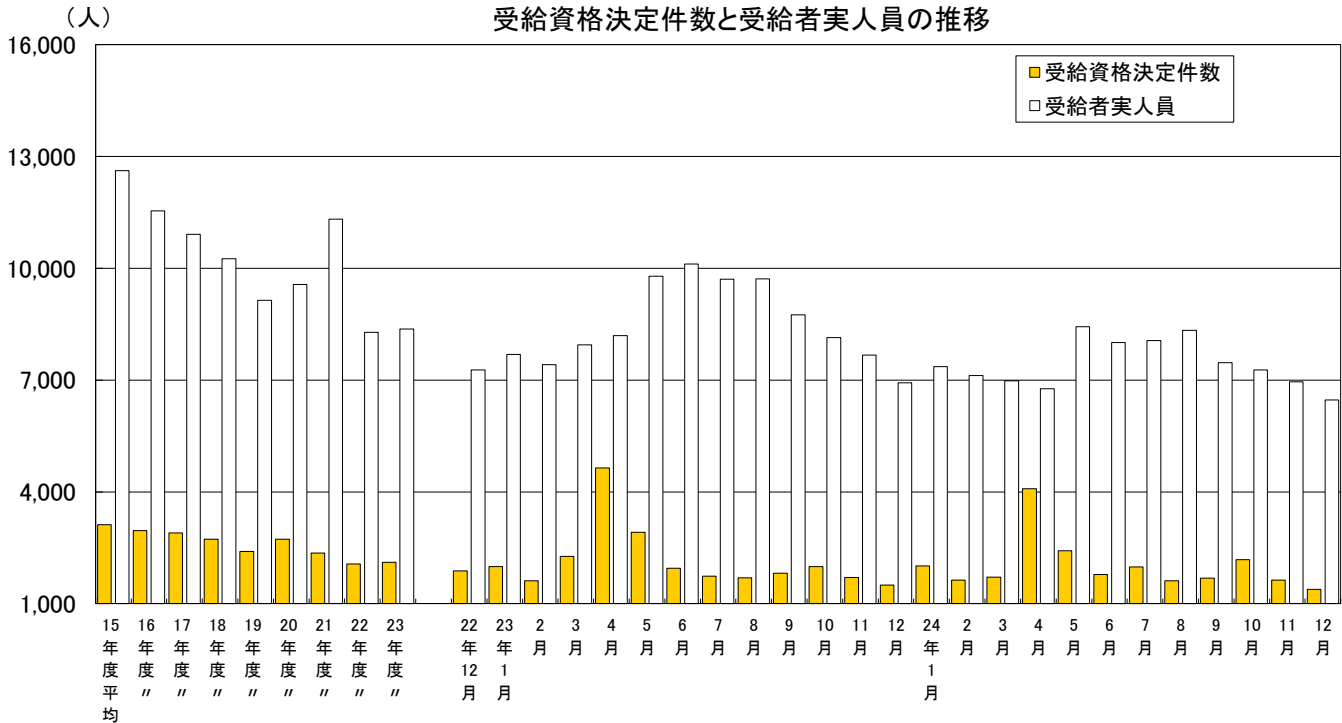
各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



V 雇用保険の状況

12月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比6.7%（461人）減少し、前月比では7.0%（487人）減少の6,470人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比7.4%（110件）減少し、前月比では15.0%（244件）減少の1,386件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比43.0%（244人）減少、前月比13.7%（39人）増加の323人となっている。



平成21年4月分より、平成19年11月改定の新産業分類で集計。
『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、「複合サービス事業」サービス業を含む。